Panasonic®

CDステレオシステム

取扱説明書

品番　**SC-PM11**

デモ機能

パネル表示の 自動点灯について

電源コードを接続すると、自動的にパネルが点灯し、表示の変化をお楽しみいただけます。これを**デモ（デモンストレーション）機能**と呼びます。

お買い上げ時は

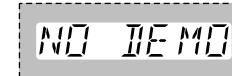
デモ機能が「入」に設定されています。このままにしておくと、電源を「切」にしても、パネルは消灯せず、デモ機能が働きます。

■デモ機能を「切」にするには

時刻/タイマー

－デモ

デモ機能動作中に

"NO DEMO"と表示するまで
押し続ける

NO DEMO

押し続けるたびに
NO DEMO（切）⇄ DEMO（入）

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。時計合わせの方法については、「時計を合わせる」（9ページ）をご覧ください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、CD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT5705-S

もくじ

まず 確認と準備

安全上のご注意 3
付属品の確認 5
設置 6
接続 6
リモコンの準備 8
オートオフ機能を使う 8
ヘッドホン（別売り）で聞く 8
時計を合わせる 9

使いかた

CDを聞く 10
- 好みの曲から演奏する 12
- くり返し演奏する 12
- 順不同に演奏する 12
- 好みの曲順で演奏する 13
- 好みのCDや曲を指定して演奏する 14

テープを聞く 15

ラジオを聞く 16
- 放送局を記憶させて聞く 17

音質／消音機能を使う 18
- 内蔵の音質／音場を使う 18
- 低音・高音を強調する 18
- 一時的に消音する 18

録音する 19
- 録音する前に 19
- CDを録音する 19
- 好みのCDや曲を指定して録音する 20
- ラジオを録音する 21
- 大切な録音を誤って消さないために 21
- 録音を消して無音テープをつくる 21

カラオケを楽しむ 22

タイマーを使う 23
- おめざめタイマーを使う 23
- 留守録タイマーを使う 24
- タイマー使用時のいろいろな操作 25
- おやすみタイマーを使う 25

別売り機器を使う 26
- 本機からMDへ録音する 26
- 別売り機器を本機で演奏する／別売り機器から本機（テープ）へ録音する 27

もし 必要なとき

屋外アンテナの接続 28
CDについて 28
CDメカ故障防止のために 29
テープについて 29
著作権について 29
お手入れ 29
各部のなまえ 30

お電話の前に一度ご確認を

Q&A（よくあるご質問） 32
故障かな!? 33
保証とアフターサービス 34
主な仕様 .... 裏表紙

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

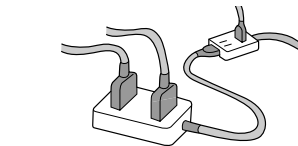
⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ご使用について

分解、改造したりしない

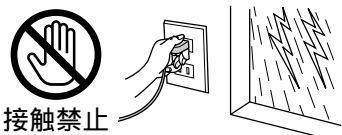
- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

警告

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

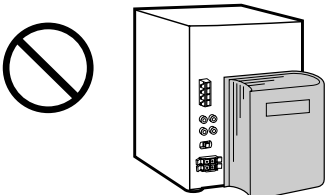
もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

注意

設置・接続について

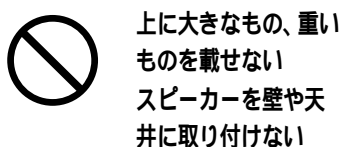
放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

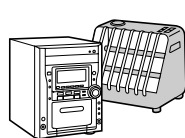
油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置･工事は販売店にご相談ください。

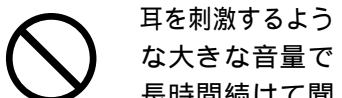
不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **スピーカーを壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD トレイの開閉時に手を入れない

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

注意

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない

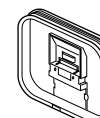
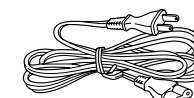
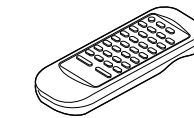
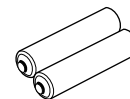
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

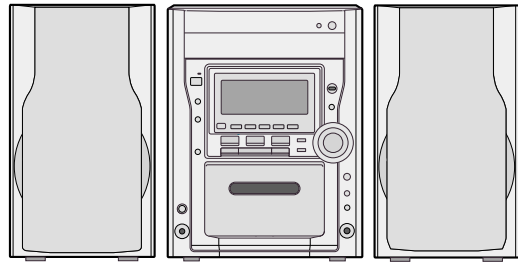
付属品の確認

接続の前に、まず付属品をお確かめください。

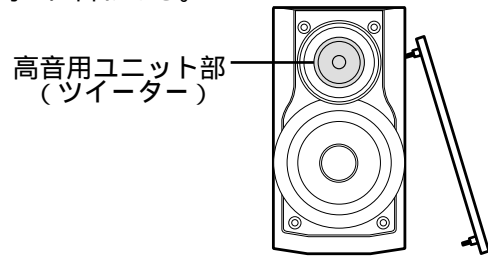
☐ FM 簡易型アンテナ（１本）
（品番 RSA0006-L）

☐ AM ループアンテナ（１個）
（品番 RSA0033A-1）

☐ 電源コード（１本）
（品番 RJA0059-J）

☐ リモコン（１個）
（品番 N2QAGB000008）

☐ リモコン用単 3 形乾電池（2 本）

・電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
・付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
カッコ(　)内は、買い替え時の品番です。

設置

スピーカーは、右・左とも同じ形です。どちらに置いてもかまいません。

スピーカー（SB-PM11）　センターユニット（SA-PM11）　スピーカー（SB-PM11）

■よりよい音響効果を得るために

- 平らで安定した場所に設置する。
- 床や壁から5cm以上離して設置する。
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
- スピーカーの高音用ユニット部（ツイーター）を耳の高さに合わせる。

お願い

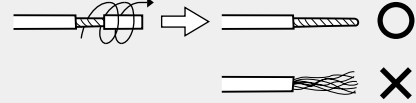
- **本機のスピーカーは防磁設計ではありません。**
  テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。
- **本体とスピーカーは放熱効果維持のため、10mm以上離してください。**
- **付属のスピーカー以外はご使用になれません。**
  本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- **⊕と⊖をショートさせないでください。**
  故障の原因になります。
- **大きな音量で連続使用しないでください。**
  スピーカー特性の劣化がおこったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- **通常の使用時でも以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）**
  - 音がひずんだとき
  - マイクやレコードプレーヤーのハウリング音、FM放送の局間ノイズ、発振器やテストディスク、電子楽器など、大きな信号が連続して加わるとき
  - 音質を調整するとき
  - 電源を入／切するとき

接続

準備：FM簡易型アンテナとスピーカーコードは、先端のビニール部分をねじりながら抜き取っておきます。

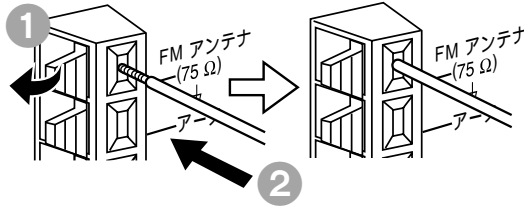
○　×

テープで止める

溝に差し込む

束ねてある線はよく伸ばします

❶ FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（⇨16・17ページ）、雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。

①　FM アンテナ（75 Ω）　アース　②

レバーを押した状態で差し込み、指をはなす

❷ AM ループアンテナ

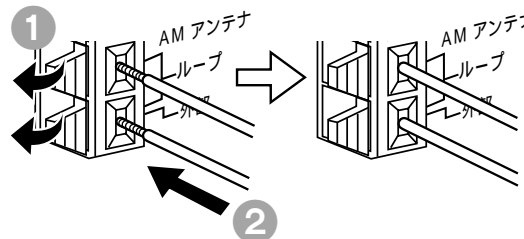
つないだあと、実際に放送を受信してみて（⇨16・17ページ）、雑音の少ない位置に置きます。

①　AM アンテナ　ループ　②

レバーを押した状態で差し込み、指をはなす

右スピーカー　左スピーカー

赤　黒　黒　赤

家庭用電源コンセント［AC100 V　50/60 Hz］

❹ 電源コード

電源コードは、最後に接続します。

❸ スピーカーコード

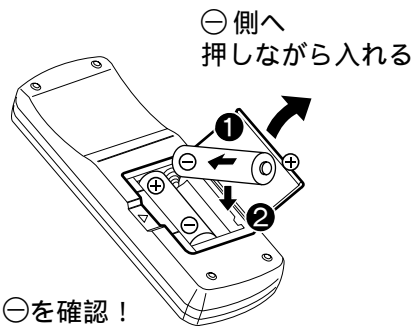
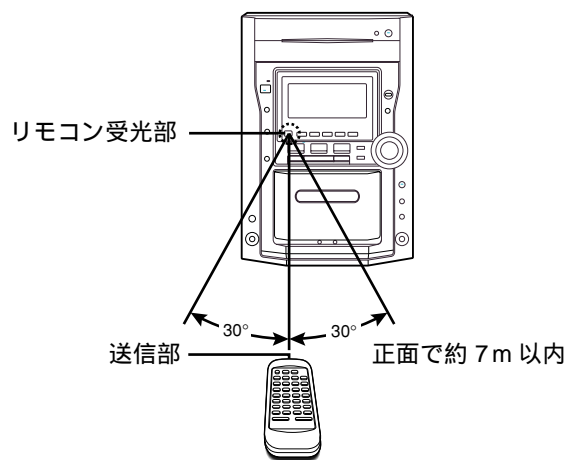
端子のレバーと同じ色のコードをつなぎます。

長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。
本機の各種メモリー（時計を除く）は、電源コードを抜いた状態で、約1週間保持されます。

リモコンの準備

乾電池（付属）の入れかた

リモコンの裏面

リモコンの使いかた

■**使用上のお願い**

- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

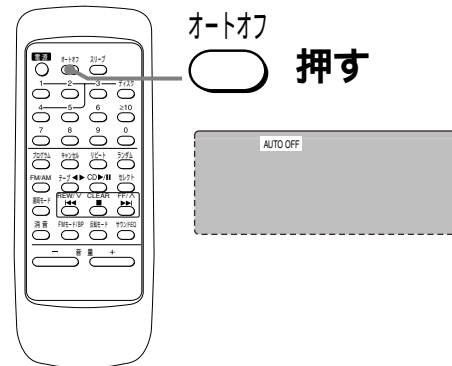
■**故障防止のために**

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

■**本体をラックに入れて使用するとき**

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

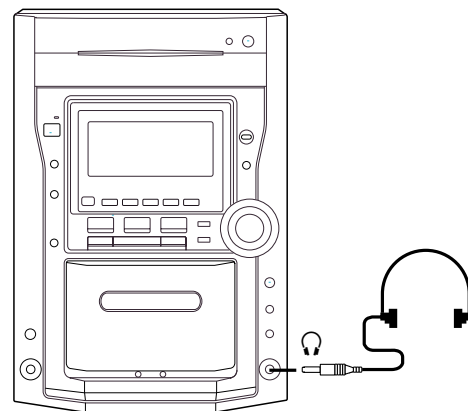
オートオフ機能を使う　リモコンのみ

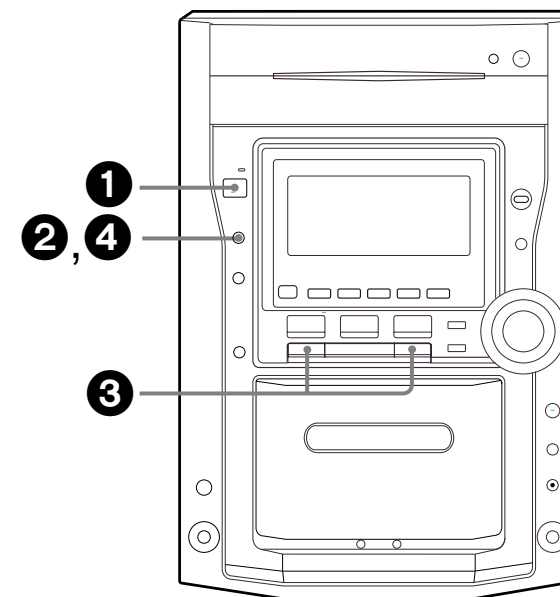
電源の切り忘れを防ぎます。
ソース（音源）がCDまたはテープのとき、演奏を停止した状態が10分間続くと、自動的に電源が切れます。

お知らせ

- 一度設定しておくと、電源を切/入してもオートオフ機能は保持されています。
- ソースがラジオまたはAUXのとき、“AUTO OFF”表示は消えますが､ソースをCDまたはテープにすると表示が戻ります。

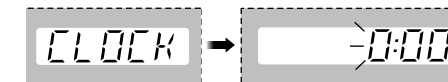
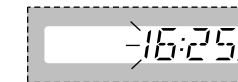
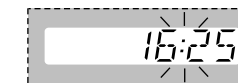
■**解除するには**

もう一度[オートオフ]を押して、 表示パネルの“AUTO OFF”を消灯させる。

ヘッドホン（別売り）で聞く

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
- 推奨品：RP-HT400、RP-HT242（共に別売り）

時計を合わせる（24 時間表示）

例：16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる

❶ **[電源]を押す**
電源が入ります。

❷ **[時刻 / タイマー]を押して“CLOCK” を選ぶ**
押すたびに
CLOCK → ◴PLAY → ◴REC
↑—— 元の表示 ——┘

❸ 約 7 秒以内に
[|◀◀/REW/∨]または[∧/FF/▶▶|]を押して、時計を合わせる
押し続けると時刻表示が連続して変化します。
元の表示に戻ったときは、手順❷からやり直してください。

❹ 時報に合わせて
[時刻 / タイマー]を押す
時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

■**電源「入」のとき時計を表示させるには**

[時刻 / タイマー]を押して、“CLOCK”を選ぶ。
時計が約 5 秒間表示されたあと、元の表示に戻ります。

お知らせ

- 本機の時計を合わせると、自動的にデモ機能が「切」になります。ただし、電源コードを抜いたときや停電があったときは、時計のメモリーが消去されるため、デモ機能が「入」に戻ります。
([時刻 / タイマー、−デモ]を押し続けて、デモ機能を「切」にしている場合は「切」のままです。)
- 長期間ご使用の間に、設定した時間に微妙な誤差を生じることがあります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。

CD を聞く

1

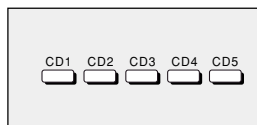
押して
トレイを開け、CD を入れる

自動的に電源が入り、演奏待機位置にあるトレイが開きます。

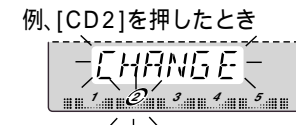
続けて他のトレイに入れないときは、手順 **4** に進んでください。
CDを演奏せずにトレイを閉めるときは、同じボタンを押します。

例、CD3 が演奏待機位置にあるとき

CD の有無に関係なく点灯

2

続けて入れるときは

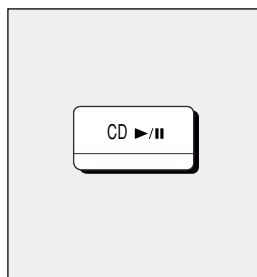
いずれかを押して
トレイを選ぶ

例、[CD2]を押したとき

3

“CHANGE” が点滅中に押して
トレイを開け、CD を入れる

前のトレイが閉まってから、手順 **2** で押した番号のトレイが開きます。

さらに続けて入れるときは、手順 **2** と **3** をくり返します。

4

CD を入れ終わったら
押す

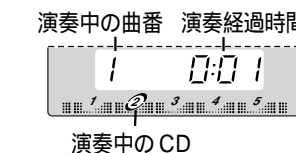
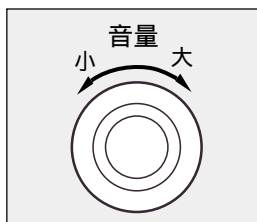
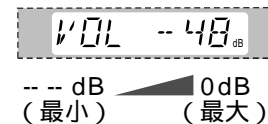
トレイが閉まってから、演奏が始まります。
演奏待機位置にあるCDの1曲目から最終CDの最終曲まで、順に演奏して自動停止します。
たとえばCD4から演奏を始めた場合、演奏順序は 4 → 5 → 1 → 2 → 3 となり最終 CD は CD3 になります。

演奏中の曲番　演奏経過時間

演奏中の CD

5

回して
音量を調節する

-- -- dB（最小）　0dB（最大）

■途中で止めるには

STOP■ **押す**

演奏待機位置にある CD の曲数と総演奏時間が表示されます。

曲数　総演奏時間

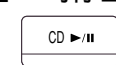
演奏待機位置にある CD

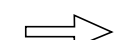
■一時停止するには

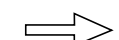
CD ►/II **押す**（再開するにはもう一度押す。）

■早戻し、早送りするには（サーチ）

演奏中または一時停止中に
|◄◄/REW/∨　∧/FF/►►| **押し続ける**

■曲を飛び越すには（スキップ）

演奏中または一時停止中に
|◄◄/REW/∨　∧/FF/►►| **押す**

■好みの CD から聞くには

⇒ CD1 CD2 CD3 CD4 CD5 **いずれかを押す**

■ CD を取り出すには

⇒ CD1 CD2 CD3 CD4 CD5 **いずれかを押してから** CD 開/閉 **押す**

お知らせ

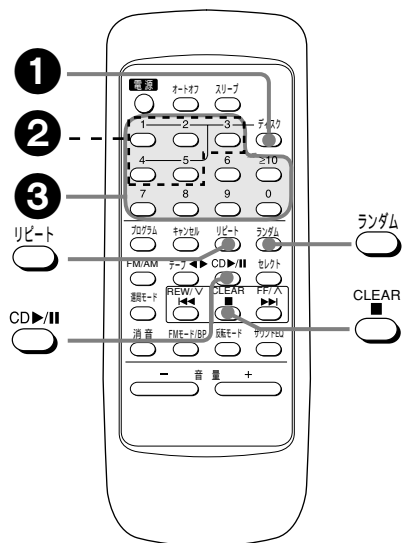
電源が「切」のとき、CDが入っている状態で[CD ►/II]または[CD1]～[CD5]のいずれかを押すと、自動的に電源が「入」になり、演奏も始まります。

お願い

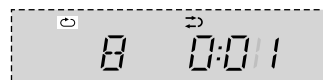
CDを入れるときや交換するときは、必ず停止状態で行ってください。演奏中に行うと、機器の故障の原因となります。

CD-R と CD-RW について

CD-DA フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。
ただし、記録状態によって再生できない場合があります。
※音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

CD を聞く

くり返し演奏する(リピート演奏) リモコンのみ

停止中または演奏中に
[リピート]を押す
(停止中のときは、次に[CD▶/❚❚]を押す)

表示パネルに“ ⮌ ”が点灯し、入れている CD の全曲がくり返し演奏されます。

■解除するには
もう一度[リピート]を押して、“ ⮌ ”を消す。

■好みの 1 曲 / 数曲をくり返すには
① 好みの曲を予約する。
　13 ページの手順❶～❺の操作をします。
②[リピート]を押して、“ ⮌ ”を表示させる。
③[CD▶/❚❚]を押す。
1曲をくり返すときは、CDマネージャー(☞14ページ)との組み合わせでも行えます。

好みの曲から演奏する(ダイレクト演奏) リモコンのみ

❶ **[ディスク]を押す**

❷ 約 10 秒以内に
[1]～[5]を押して
CD を選ぶ

❸ **数字ボタンを押して**
曲番を選ぶ

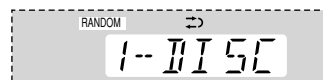
選んだ曲から自動的に演奏が始まります。
最終 CD の最終曲まで、順に演奏して自動停止します。

曲番 10 以上を選ぶには
例）曲番 12：[≧10]→[1]→[2]
　　曲番 30：[≧10]→[3]→[0]

順不同に演奏する(ランダム演奏) リモコンのみ

[ランダム]を押して
“1-DISC” または “ALL” を選ぶ

押すたびに
1-DISC ──→ ALL
↑── 元の表示 ──┘

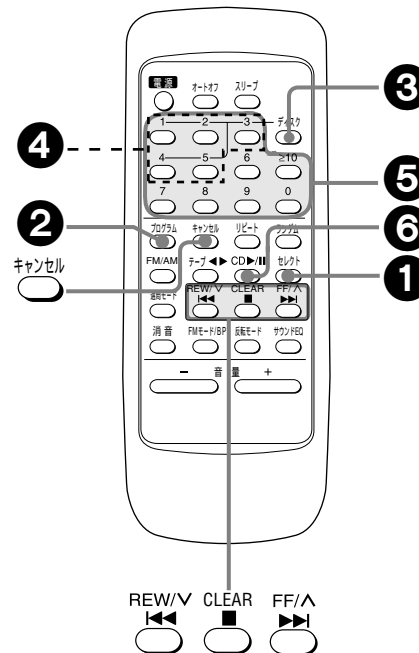
表示パネルに“RANDOM”が点灯し、それぞれのモードでランダム演奏が始まります。

“1-DISC” を選んだとき：
停止中：演奏待機位置にある CD の全曲を順不同に 1 回演奏して、自動停止します。
演奏中：演奏している CD の全曲を順不同に 1 回演奏して、自動停止します。

“ALL” を選んだとき：
入れているすべての CD の全曲を順不同に 1 回演奏して、自動停止します。

■解除するには
[ランダム]を押して、表示パネルの“RANDOM”を消す。
([CLEAR、■]を押して、ランダム演奏を止めても解除されます。)

お知らせ
- ランダム演奏をプログラム演奏やリピート演奏と組み合わせて使うことができます。
- ランダム演奏中は、前の曲にスキップすることはできません。
- ランダム演奏中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早送り・早戻りします。

好みの曲順で演奏する(プログラム演奏) リモコンのみ

最大 24 曲まで予約できます。

❶ **[セレクト]を押して**
“CD” を選ぶ

❷ **[プログラム]を押す**

❸ **[ディスク]を押す**

❹ 約 10 秒以内に
[1]～[5]を押して
CD を選ぶ

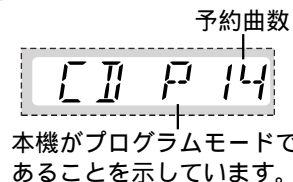
❺ **数字ボタンを押して**
曲番を選ぶ

曲番 10 以上を選ぶには
例）曲番 12：[≧10]→[1]→[2]
　　曲番 30：[≧10]→[3]→[0]
続けて予約するときは、手順❸～❺をくり返します。

❻ 曲の予約が終わったら
[CD ▶/❚❚]を押す

予約曲を順に演奏して、自動停止します。

■“CD FULL” が表示されたら
予約曲数が 24 曲を超えました。
これ以上の予約はできません。

■途中で演奏を止めるには
[CLEAR、■]を押す。
予約曲数が表示されます。

■プログラムモードを解除するには
停止中に[プログラム]を押して、表示パネルの“PRGM”を消す。(予約内容は保持されます。)

■同じ予約内容で演奏するには
① 停止中に[プログラム]を押して、表示パネルに“PRGM”を表示させる。
②[CD▶/❚❚]を押す。

■予約内容を確認するには
プログラムモード時に
[REW/∨、⏮]または[FF/∧、⏭]を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

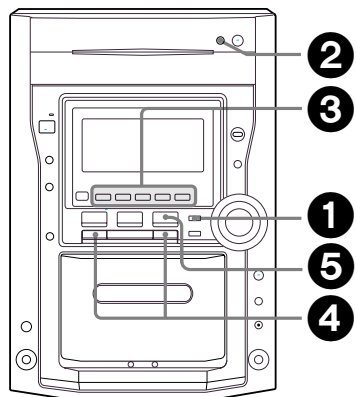
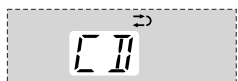
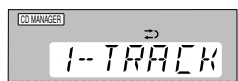
■予約を追加するには
プログラムモード時に
左記の手順❸～❺をくり返す。

■予約を取り消すには
プログラムモード時に、以下の操作をします。
最後の曲から順に取り消す：
[キャンセル]を押す。
特定の曲だけ取り消す：
①[REW/∨、⏮]または[FF/∧、⏭]を押して、曲番を選ぶ。
② 約 3 秒以内に[キャンセル]を押す。
全曲を取り消す：
[CLEAR、■]を押す。
表示パネルに“CLEAR”が表示され、プログラムモードも解除されます。

お知らせ
- 予約した曲の総演奏時間は表示されません。
- プログラム演奏中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早送り・早戻りします。

CD を聞く

好みのCDや曲を指定して演奏する（CDマネージャー）

3 種類の指定方法があります。

1 曲だけを指定

❶ **[セレクト]を押して “CD” を選ぶ**

CD

❷ **[CDマネージャー]を押して “1-TRACK” を選ぶ**

CD MANAGER 1-TRACK

❸ **[CD1]〜[CD5]を押して CD を指定する**

CD MANAGER 0

❹ **[⏮/REW/∨]または [∧/FF/⏭]を押して 曲番を指定する**

CD MANAGER 7

❺ **[CD ▶/❚❚]を押す**

演奏が始まります。

CD MANAGER 7 0:01

1 枚の CD だけを指定

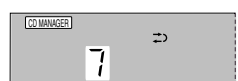
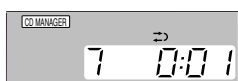
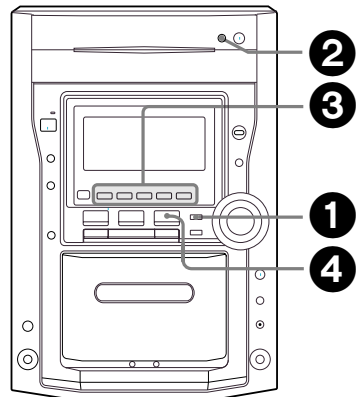
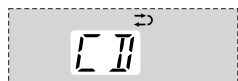
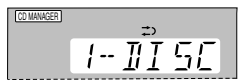
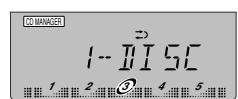
❶ **[セレクト]を押して “CD” を選ぶ**

CD

❷ **[CDマネージャー]を押して “1-DISC” を選ぶ**

CD MANAGER 1-DISC

❸ **[CD1]〜[CD5]を押して CD を指定する**

CD MANAGER 1-DISC

❹ **[CD ▶/❚❚]を押す**

演奏が始まります。

各 CD の同じ曲番だけを指定

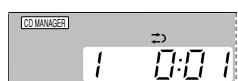
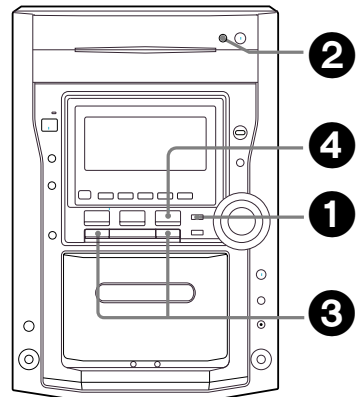
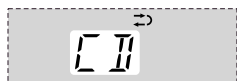
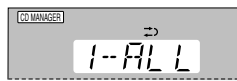
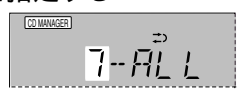
❶ **[セレクト]を押して “CD” を選ぶ**

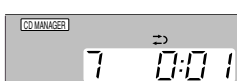
CD

❷ **[CDマネージャー]を押して “1-ALL” を選ぶ**

CD MANAGER 1-ALL

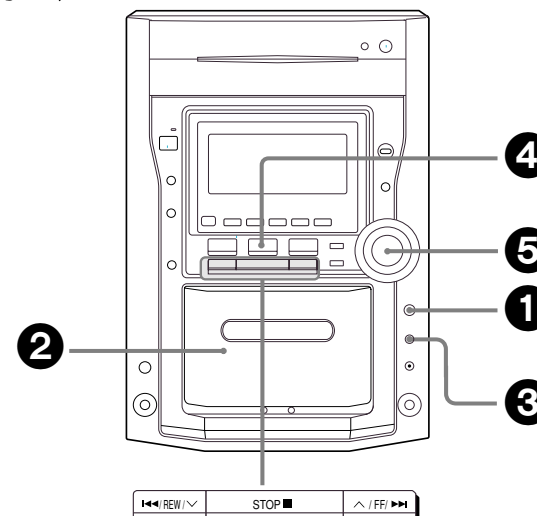
❸ **[⏮/REW/∨]または [∧/FF/⏭]を押して 曲番を指定する**

CD MANAGER 7-ALL

❹ **[CD ▶/❚❚]を押す**

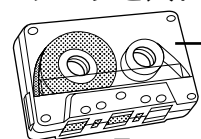
演奏が始まります。

- CD1→CD5 の順に演奏されます。
- 指定した曲番が CD にないときは、その CD をとばして演奏を続けます。
- 演奏中は、前の曲にスキップすることはできません。

お知らせ

- 手順❷ で “NORMAL” を選ぶと、約 3 秒後に元の表示に戻ります。
- リピート演奏(⇨12 ページ)と組み合わせて使うことができます。
- 演奏が終わると CD マネージャーは自動的に解除されます。（リモコンの[ランダム]を押しても解除されます。）

テープを聞く

❶ **[▲、デッキ]を押す**

自動的に電源が入り、ホルダーが開きます。

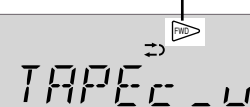
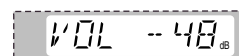
❷ **テープを入れる**

テープの見える側を下に向けて入れます。
ホルダーは手で閉めます。
テープの走行方向は、自動的におもて面（FWD）になります。

❸ **[反転モード]を押して、“⇄”、“⇄⊃”、“⊂⇄⊃” のいずれかを選ぶ**

⇄：片面だけ再生して自動停止
⇄⊃：両面を 1 回再生して自動停止
（裏面から再生を始めたときは、裏面だけ再生して自動停止します。）
⊂⇄⊃：両面をくり返し再生
（[STOP ■]を押すまで再生を続けます。）

❹ **[テープ ◀ ▶]を押す**

再生が始まります。
もう一度[テープ ◀ ▶]を押すと、テープの走行方向が逆になります。

テープの走行方向

❺ **[音量]を回して 音量を調節する**

再生できるテープについて

NORMAL POSITION/TYPE I（ノーマル ポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE II（ハイ ポジション）	○
METAL POSITION/TYPE IV（メタル ポジション）	○

テープの種類は自動的に判別されます。

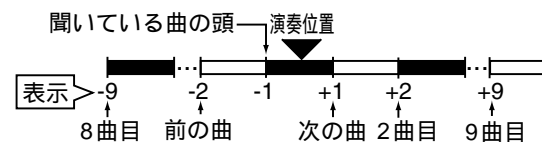
■ 途中で止めるには

[STOP ■]を押す。

■ 早送り、早戻しするには

停止中に[⏮/REW/∨]（早戻し）または[∧/FF/⏭]（早送り）を押す。

■ 曲の頭出しをするには（TPS 機能）

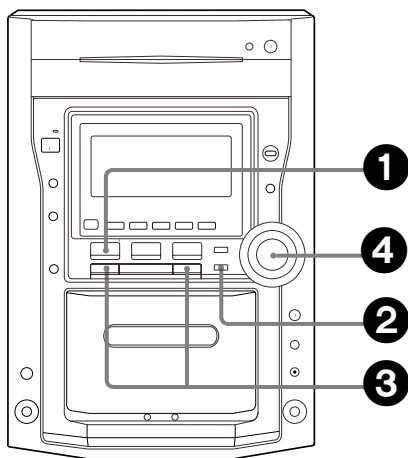
演奏中に[⏮/REW/∨]または[∧/FF/⏭]を押す。
次曲方向には 9 曲まで、前曲方向には 8 曲まで飛び越しできます。

TPS 機能は、曲間の約 4 秒間の無音部分を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。

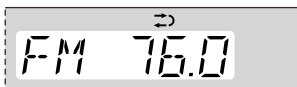
- 曲間が短い
- 曲間に雑音がある
- 曲中に無音に近い部分がある

お知らせ

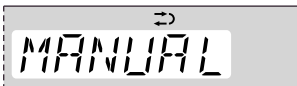
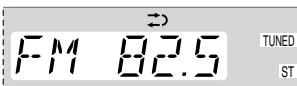
電源が「切」のとき、テープが入っている状態で、[テープ ◀ ▶]を押すと、自動的に電源が「入」になり、演奏も始まります。

ラジオを聞く

準備：付属の FM 簡易型アンテナと AM ループアンテナを本機に接続する(▷6・7 ページ)。

❶ [ラジオ AM/FM]を押して
“FM” または “AM” を選ぶ
（TV 音声を受信するときは、“FM” を選ぶ）

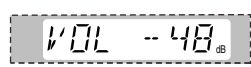
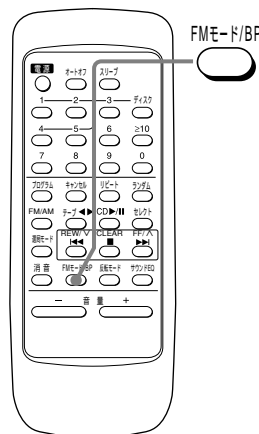
押すたびに
FM ⇄ AM

自動的に電源が入り、ラジオに切り換わります。

❷ [選局モード]を押して、
“MANUAL” を選ぶ

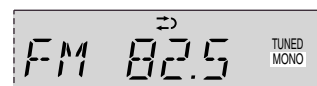
押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

❸ [|◀◀/REW/∨]または[∧/FF/▶▶|]を
押して放送局を受信する

TUNED ：放送局を受信すると点灯
ST ：FM ステレオ放送を受信すると点灯

自動選局するには（オートチューニング）
[|◀◀/REW/∨]または[∧/FF/▶▶|]を押し続け、周波数表示が変化し始めたら指をはなす。
放送局を受信すると止まります。好みの放送局を受信するまで同じ操作をくり返してください。

TV 音声 1 〜 3 ch の受信位置
95.7MHz − **TV1ch** − 95.8MHz
101.7MHz − **TV2ch** − 101.8MHz
107.7MHz − **TV3ch** − 107.8MHz

❹ [音量]を回して
音量を調節する

■ **FM ステレオ放送で雑音が多いときは**

押して
表示パネルに
“MONO” を表示させる

押すたびに
MONO ⇄ 消灯

FM 82.5 TUNED MONO

通常は、消灯にしておきます。

お知らせ

- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします(▷28ページ)。
- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送局を受信せずに周波数表示が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2ch または 3ch に FM 放送が混信することがあります。
- AM 放送受信中にテープを出し入れすると、音が少し途切れます。

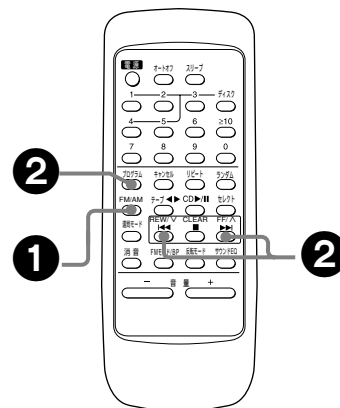
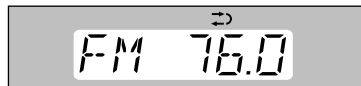
放送局を記憶させて聞く

放送局をプリセットチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で選局できるようになります。
FM、AM とも、12 局ずつ記憶させることができます。

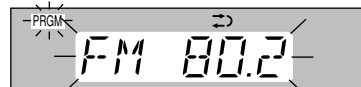
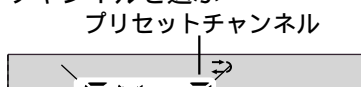
放送局を記憶させる　リモコンのみ

❶ [FM/AM]を押して
“FM” または “AM” を選ぶ

押すたびに
FM ⇄ AM

FM 76.0

❷ プリセットチャンネルに好みの放送局を記憶させる

①[プログラム]を押してから、[REW/∨、|◀◀]または[FF/∧、▶▶|]を押して選局する

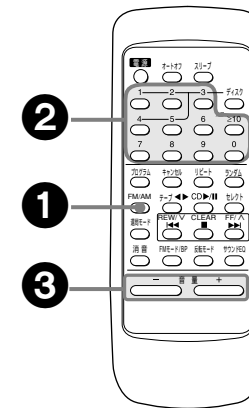
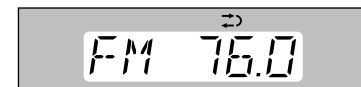
PRGM FM 80.2

② 約 10 秒以内に手順 ① と同じ操作をして、プリセットチャンネルを選ぶ

すでに放送局が記憶されているプリセットチャンネルを選ぶと、新たに選んだ放送局が記憶されます。

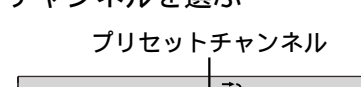
③ 約 10 秒以内に[プログラム]を押す

続けて放送局を記憶させるときは、手順❷をくり返します。

■ **放送局を自動で記憶させるには**

①手順❶のあと、[REW/∨、|◀◀]または[FF/∧、▶▶|]を押して一番低い周波数に合わせる。
（FM：76.0MHz、 AM：522kHz）
②[プログラム]を押し続け、周波数表示が変化し始めたら指をはなす。
放送局が順に記憶されていきます。動作終了後は、最後に記憶された放送局が受信されます。

記憶させた放送局を聞く

❶ [FM/AM]を押して
“FM” または “AM” を選ぶ

押すたびに
FM ⇄ AM

❷ 数字ボタンを押して
プリセットチャンネルを選ぶ

プリセットチャンネル 10 以上を選ぶには
例）チャンネル 12：[≧10]→[1]→[2]

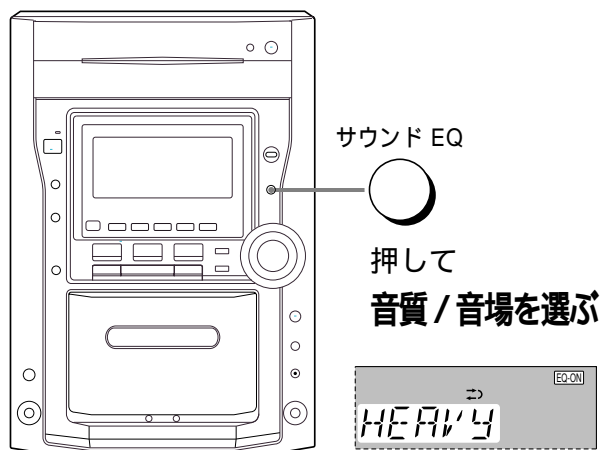
❸ [音量−、＋]を押して
音量を調節する

VOL --48dB
-- -- dB（最小） 0dB（最大）

■ **本体で操作するには**

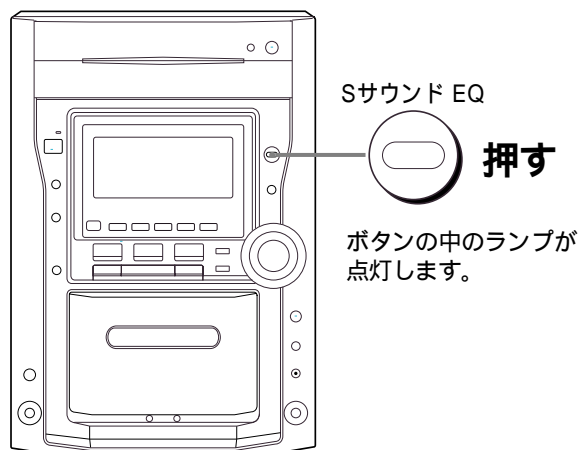
①[ラジオ AM/FM]を押して、“FM” または “AM” を選ぶ。
②[選局モード]を押して、“PRESET” を選ぶ。
③[|◀◀/REW/∨]または[∧/FF/▶▶|]を押して、プリセットチャンネルを選ぶ。
④[音量]を回して、音量を調節する。

音質／消音機能を使う

内蔵の音質／音場を使う

押すたびに、次の順序で切り換わります。

- **HEAVY** ロックなどパンチを効かせるとき（お買い上げ時の設定）
- **CLEAR** ジャズなど高音部を鮮明にするとき
- **SOFT** BGMとして聞くとき
- **DISCO** ディスコの長い残響音を出したいとき
- **LIVE** ボーカルにツヤを出したいとき
- **HALL** 大ホールのような広がりを与えたいとき
- **FLAT** 音響効果を使わないとき

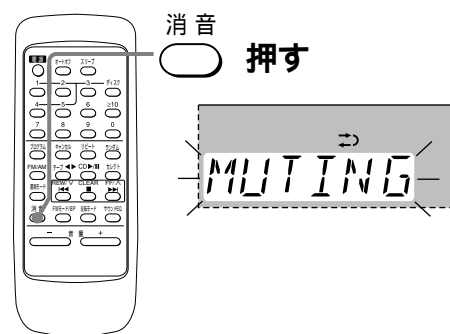
■録音時について
録音中は、自動的に“FLAT”が選ばれます。
録音中に[サウンドEQ]を押すと、“ERROR”が表示されます。

低音・高音を強調する

ボタンの中のランプが点灯します。

■解除するには
[S サウンド EQ]を押す。
ボタンの中のランプが消灯します。

■録音時について
録音中は、低音・高音を強調できません。
録音中に[S サウンド EQ]を押すと、“ERROR” が表示されます。

一時的に消音する リモコンのみ

電話がかかってきたときなどに便利です。

■解除するには
[消音]を押して、“MUTING” を消す。
以下の操作でも解除されます。
- 音量を “ -- -- dB” まで下げる。
- 電源を切／入する。

■録音時について
録音中に[消音]を押して消音しても、録音されるテープには影響しません。

録音する

録音する前に

録音できるテープについて

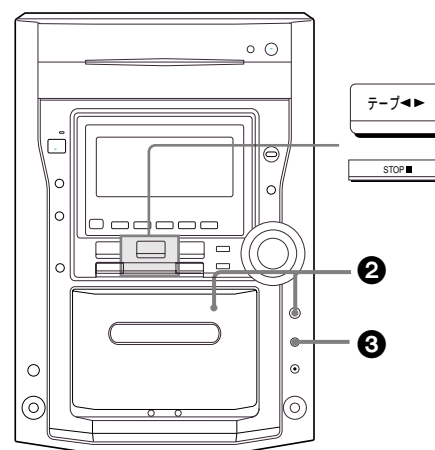
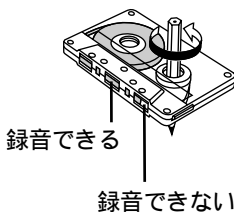
NORMAL POSITION/TYPE I（ノーマル ポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE II（ハイ ポジション）	○
METAL POSITION/TYPE IV（メタル ポジション）	×

テープの種類は自動的に判別されます。
本機では、メタルポジションテープを使うことはできますが、正しく録音（消去）されません。

録音の準備

❶ リーダーテープ部を巻き取る

録音できる

録音できない（リーダーテープ部）

❷[▲、デッキ]を押して、ホルダーを開け、録音用テープを入れる

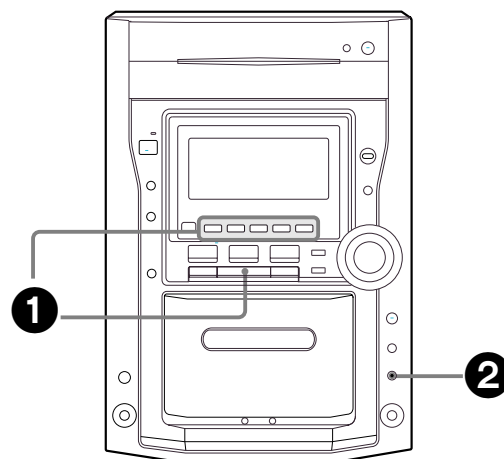
15 ページの手順❶・❷ の操作をします。

❸[反転モード]を押して、“⇄”、“⇄⊃”、“⊂⇄⊃” のいずれかを選ぶ

⇄　　　：おもて面のみに録音して自動停止
⇄⊃、⊂⇄⊃：両面に録音して自動停止
（“⊂⇄⊃” は、[録音 / 一時停止]を押すと “⇄⊃” に変わります。）

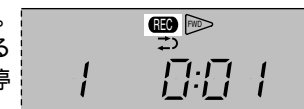
■裏面のみに録音するには
① 手順❶・❷ をして、録音用テープを入れる。
②[テープ ◄ ►]を 2 回押して、表示パネルに “◅” が点灯したのを確認してから、[STOP ■]を押す。
このあと録音操作をすると、選ばれている反転モードに関係なく、裏面のみに録音して自動停止します。

CDを録音する（基本操作）

準備：録音したい CD を入れる。

❶ [CD1]〜[CD5]を押してから、[STOP ■]を押す

（CD を 2 枚以上入れたときは、最初に録音を始めたい CD を選ぶ。）

❷ [録音 / 一時停止]を押す

録音が始まります。
CDの演奏が終わると、テープも自動停止します。

■途中で止めるには
[STOP ■]を押す。
4 秒間の無音部分を作ってから停止します。
（CD も停止します。）

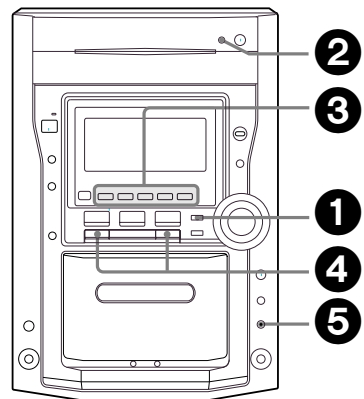
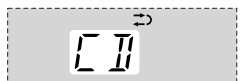
■録音を一時停止するには
[録音 / 一時停止]を押す。
（CD は演奏を続けます。）
録音を再開するにはもう一度[録音 / 一時停止]を押す。

■好みの曲を好みの順に録音するには
① 好みの曲を予約する。
13 ページの手順 ❶ 〜 ❺ の操作をします。
②[録音 / 一時停止]を押して、録音を始める。

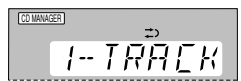
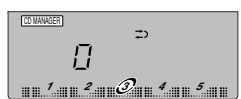
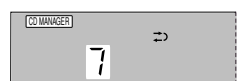
■録音時の音量 / 音質について
- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 音量を変えた場合、演奏音には影響しますが、録音されるテープには影響しません。
- 音質は変えられません。

録音する

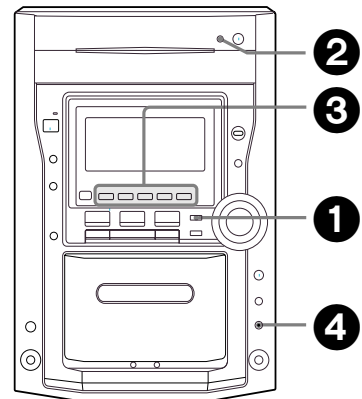
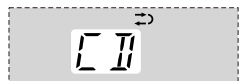
好みのCDや曲を指定して録音する（CDマネージャー）

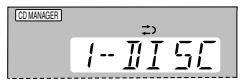
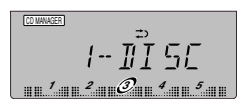
3 種類の指定方法があります。

1 曲だけを指定

❶ **[セレクト]を押して“CD” を選ぶ**

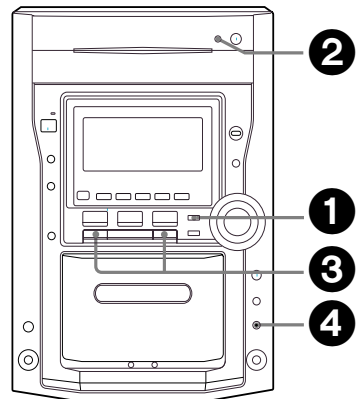
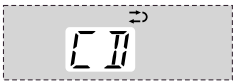
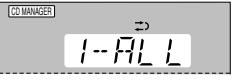
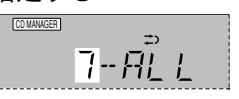
❷ **[CDマネージャー]を押して“1-TRACK” を選ぶ**

❸ **[CD1]〜[CD5]を押してCD を指定する**

❹ **[|◀◀/REW/∨]または[∧/FF/▶▶|]を押して曲番を指定する**

❺ **[録音 / 一時停止]を押す**

録音が始まります。

1 枚の CD だけを指定

❶ **[セレクト]を押して“CD” を選ぶ**

❷ **[CDマネージャー]を押して“1-DISC” を選ぶ**

❸ **[CD1]〜[CD5]を押してCD を指定する**

❹ **[録音 / 一時停止]を押す**

録音が始まります。

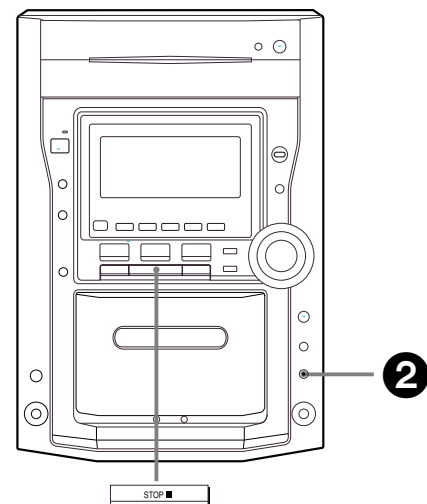
各 CD の同じ曲番だけを指定

❶ **[セレクト]を押して“CD” を選ぶ**

❷ **[CD マネージャー]を押して“1-ALL” を選ぶ**

❸ **[|◀◀/REW/∨]または[∧/FF/▶▶|]を押して曲番を指定する**

❹ **[録音 / 一時停止]を押す**

録音が始まります。

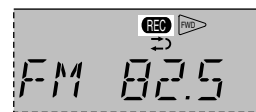
- CD1→CD5の順に録音されます。
- 指定した曲番が CD にないときは、そのCDをとばして録音を続けます。

お知らせ

- 手順❷で“NORMAL”を選ぶと、約 3 秒後に元の表示に戻ります。
- おもて面終端で途切れた曲は、裏面に最初からもう一度録音されます。裏面で途切れた曲は、そのままになります。
- 録音が終わると CD マネージャーは自動的に解除されます。

ラジオを録音する

❶ **好みの放送局を受信する**
（▷16・17 ページ）

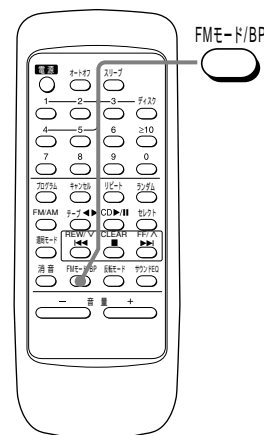
❷ **[録音 / 一時停止]を押す**

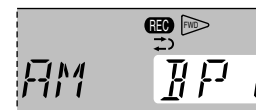
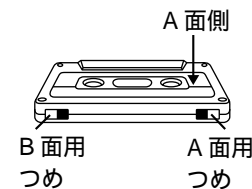
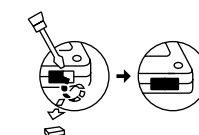
録音が始まります。

■途中で止めるには

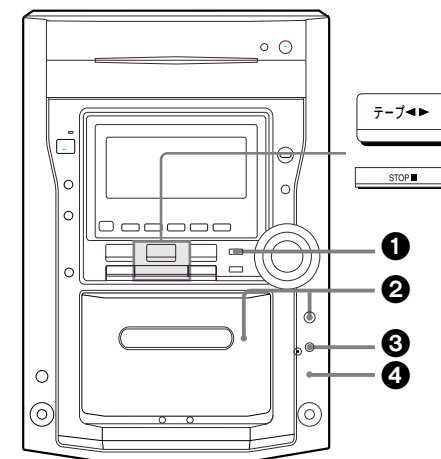
[STOP ■]を押す。
4 秒間の無音部分を作ってから停止します。

■一時停止するには

[録音 / 一時停止]を押す。
（再開するにはもう一度押す。）

■AM 放送録音時に雑音が多いときは（ビートプルーフ機能）

録音中に
押す

“BP1” または “BP2” のうち、雑音の少ないほうを選ぶ。

大切な録音を誤って消さないために

■もう一度録音するには

録音を消して無音テープをつくる

❶ **[セレクト]を押して “TAPE” を選ぶ**

❷ **[▲、デッキ]を押して、ホルダーを開け、録音を消したいテープを入れる**

15 ページの手順❶・❷の操作をします。

❸ **[反転モード]を押して、“⇄”、“⇄⊃”、“⊂⇄⊃” のいずれかを選ぶ**

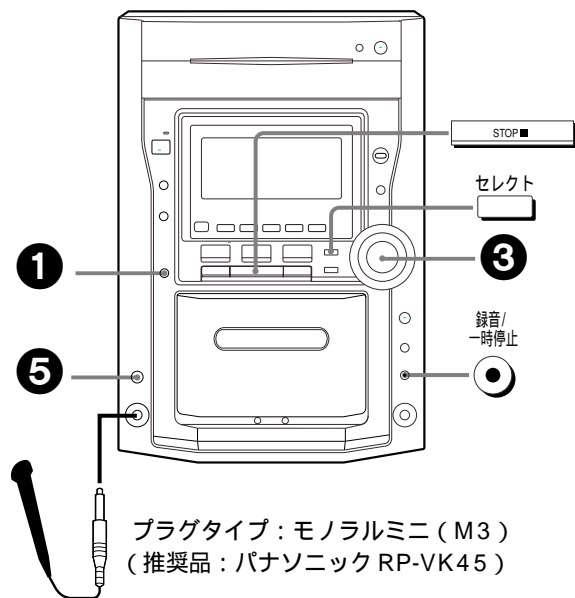
⇄ ：おもて面のみ録音を消して自動停止
⇄⊃、⊂⇄⊃：両面の録音を消して自動停止
（“⊂⇄⊃” は、[録音 / 一時停止]を押すと “⇄⊃” に変わります。）

❹ **[録音 / 一時停止]を押す**

■裏面のみ録音を消すには

① 手順❶・❷をして、録音用テープを入れる。
②[テープ ◀ ▶]を 2 回押して、表示パネルに “◁” が点灯したのを確認してから、[STOP ■]を押す。
③[録音 / 一時停止]を押す。
選ばれている反転モードに関係なく、裏面のみ録音を消して自動停止します。

カラオケを楽しむ

準備：① 本体の音量とマイクの音量を下げる。
② マイク(別売り)をミキシングマイク端子につなぐ。

プラグタイプ：モノラルミニ（M3）
（推奨品：パナソニック RP-VK45）

使用ソフト／音声モード	音声多重カラオケ・CD・テープ	カラオケ・CD・テープ	ノーマル（普通の歌入り）・CD・テープ
V.MUTE	——	——	○※
MONO L	○（伴奏）	——	——
MONO R	●（歌声のみ）	——	——
消灯	●（伴奏＋歌声）	○	●（伴奏＋歌声）

○：カラオケ　●：歌手の声といっしょに
「—」のモードでは使用しないでください。

❶ [カラオケ]を押して カラオケ音声モードを選ぶ

押すたびに
V.MUTE ⟶ MONO L ⟶ MONO R
↑—— 消灯（解除）——┘
使用するソフトに応じて音声モードを選びます。
詳しくは、右上の表をご覧ください。

❷ CD またはテープの演奏を始める

❸ [音量]を回して 伴奏の音量を調節する

❹ カラオケを始める

❺ [マイク音量]を回して 歌声の音量を調節する

マイクを使うときは
- ハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、本機とマイクの音量を下げてください。
- マイク使用後は、マイクの音量を最小にして、マイクを抜きます。

■解除するには
[カラオケ]を押して、消灯を選ぶ。

※ V.MUTE（ボイスミュート）を使うときは

CDまたはテープに入っている歌声は、完全には消えません。

ステレオ録音された CD またはテープをお使いください。以下のソフトでは、効果がなかったり、ノイズが出たりします。
- モノラル録音ソフト
- クラシック、詩吟などで、楽器の少ないソフト
- コーラスが強かったり、デュエットしているソフト

■カラオケを録音するには（CD のみ）
① 録音用テープを入れる(▷19 ページ)。
②[セレクト]を押して、“CD” を選ぶ。
③[カラオケ]を押して、カラオケ音声モードを選ぶ。
④[録音 / 一時停止]を押して、録音を始める。
⑤ カラオケを始める。
途中で止めるには
[STOP■]を押す。
4 秒間の無音部分を作ってから停止します。
（CD も停止します。）
一時停止するには
[録音 / 一時停止]を押す。
（CD は演奏を続けます。）
録音を再開するにはもう一度[録音 / 一時停止]を押す。

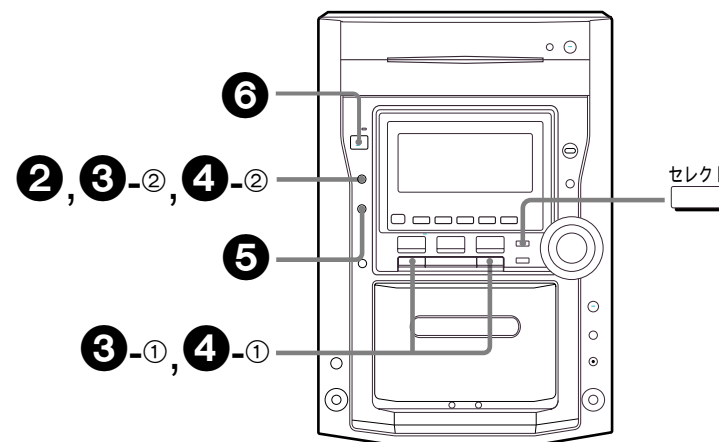
■マイクをつないでこんなこともできます
・マイクから録音する
① 録音用テープを入れる(▷19 ページ)。
②[セレクト]を押して、“TAPE” を選ぶ。
③[録音 / 一時停止]を押して、録音を始める。
④ マイクを使う。
・本機を拡声器として使う
①[セレクト]を押して、“TAPE” を選ぶ。
② マイクを使う。
③ マイクと本機の音量を調節する。

お知らせ
- ラジオ放送を使ってのカラオケ・カラオケ録音はできません。
- 音質／音場を変えてカラオケすることもできます。ただし、録音には影響しません。

タイマーを使う

おめざめタイマーを使う

目覚ましとしてソース（音源）を演奏したいときに使います。

準備：① 電源を入れる。
② 時計を合わせる(▷9 ページ)。

例：6 時 30 分から 7 時 40 分まで好みのソースを好みの音量で演奏する

❶ ソース（音源）と音量を設定する

① ソースを演奏する。
② 音量を調節する。
③ CD とテープは演奏を止める。
外部機器を使ったタイマー設定
[セレクト]を押して “AUX” を選んだあと、接続した機器も本機と同じ時刻に動作するように設定してください。

❷ [時刻 / タイマー]を押して “◴PLAY” を選ぶ

押すたびに
CLOCK → ◴PLAY → ◴REC
↑—— 元の表示 ——┘

❸ 開始時刻を設定する

① 約 8 秒以内に
[⏮/REW/∨]または[∧/FF/⏭]を押して開始時刻に合わせる
②[時刻 / タイマー]を押す

❹ 終了時刻を設定する

①[⏮/REW/∨]または[∧/FF/⏭]を押して終了時刻に合わせる
②[時刻 / タイマー]を押す

❺ [◴ 再生 / ◴ 録音]を押して 表示パネルに “◴PLAY” を表示させる

押すたびに
◴PLAY ⟶ ◴REC
↑— 消灯（解除）—┘

❻ [電源]を押して、電源を切る

■おめざめタイマーを動作させないときは
電源を入れ、[◴ 再生 /◴ 録音]を押して、“◴PLAY” を消す。
（“◴PLAY” が点灯中は、予約通りに毎日動作します。）

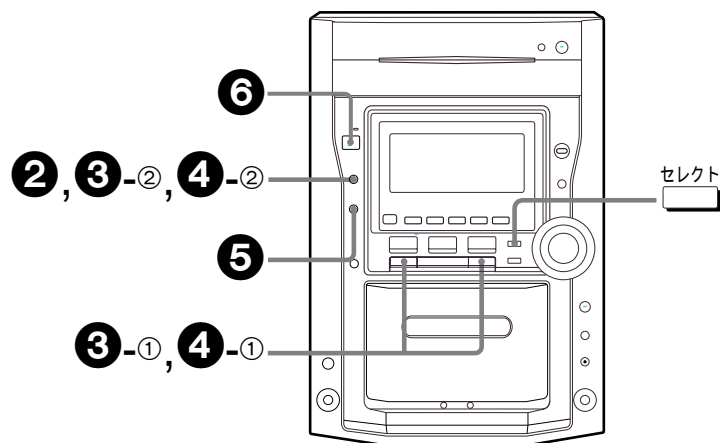
■予約内容を変えるには
開始／終了時刻を変えるとき
① 電源を入れる。
② 手順 ❷～❹ の操作をする。
③ 電源を切る。
ソース／音量を変えるとき
① 電源を入れる。
②[◴ 再生 /◴ 録音]を押して、“◴PLAY” を消す。
③ ソースと音量を設定する。
④ 手順 ❺・❻ の操作をする。

お知らせ
- 開始時刻になると、設定した音量まで徐々に大きくして、演奏します。
- おめざめタイマーを留守録タイマー(▷24 ページ)と組み合わせて使うことはできません。

タイマーを使う

留守録タイマーを使う

留守中や眠っている間にラジオ放送を録音したいときに使います。

準備：① 電源を入れる。
② 時計を合わせる(9 ページ)。
③ 録音用テープを入れる(19 ページ)。

例：18 時 30 分から 20 時 00 分まで録音する

❶ 放送局を受信する

外部機器を使ったタイマー設定
[セレクト]を押して“AUX”を選んだあと、接続した機器も本機と同じ時刻に動作するように設定してください。

❷ [時刻 / タイマー]を押して“◴REC”を選ぶ

押すたびに
CLOCK → ◴PLAY → ◴REC
↑―― 元の表示 ――┘

(表示：◴REC)

❸ 開始時刻を設定する

① 約 8 秒以内に
[|◀◀/REW/∨]または[∧/FF/▶▶|]を押して開始時刻に合わせる

(表示：ON ◴REC 18:30)

②**[時刻 / タイマー]を押す**

(表示：OFF ◴REC 18:30)

❹ 終了時刻を設定する

①**[|◀◀/REW/∨]または[∧/FF/▶▶|]を押して終了時刻に合わせる**

(表示：OFF ◴REC 20:00)

②**[時刻 / タイマー]を押す**

(表示：OFF ◴REC 20:00)

❺ [◴ 再生 / ◴ 録音]を押して表示パネルに“◴REC”を表示させる

押すたびに
◴PLAY ――→ ◴REC
↑―― 消灯（解除）――┘

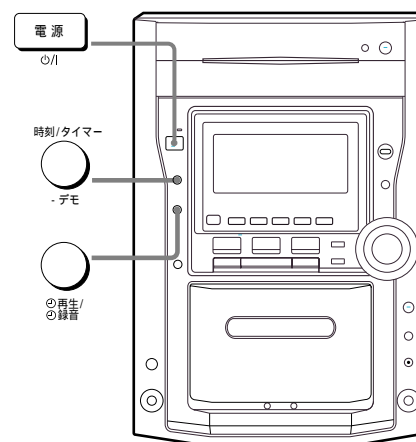
(表示：◴REC)

❻ [電源]を押して、電源を切る

■ 留守録タイマーを動作させないときは
電源を入れ、[◴ 再生 /◴ 録音]を押して、“◴REC”を消す。
(“◴REC”が点灯中は、予約通りに毎日動作します。)

■ 予約内容を変えるには
開始／終了時刻を変えるとき
① 電源を入れる。
② 手順 ❷ ～ ❹ の操作をする。
③ 電源を切る。
ソースを変えるとき
① 電源を入れる。
②[◴ 再生 /◴ 録音]を押して、“◴REC”を消す。
③ ソースを設定する。
④ 手順 ❺・❻ の操作をする。

お知らせ
- 録音の頭切れ防止のため、設定した時刻の 30 秒前になると、留守録タイマーが動作を始めます。
- 留守録タイマー動作中は、音量が最小になりますが、録音されるテープには影響しません。
- 留守録タイマーをおめざめタイマー(23 ページ)と組み合わせて使うことはできません。

タイマー使用時のいろいろな操作

■ 予約した内容を確かめるには
電源「切」でも確認できます。
[時刻 / タイマー]を押して、“◴PLAY”（おめざめタイマー）または“◴REC”（留守録タイマー）を選ぶ。
自動的に以下の表示を数秒間ずつ行います。

おめざめタイマー
開始時刻→終了時刻→ソース→音量
留守録タイマー
開始時刻→終了時刻→ソース

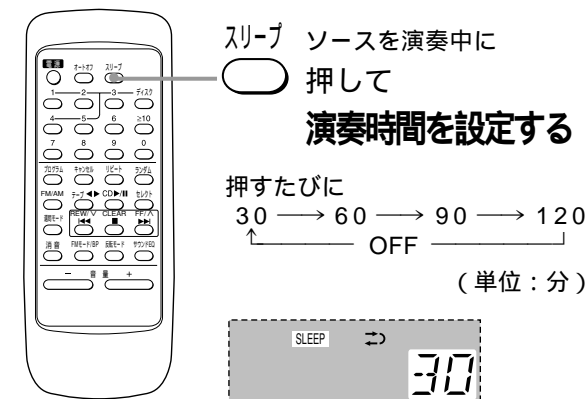
■ 予約したあとに本機で演奏を楽しむには
① 電源を入れ、通常の演奏操作をする。
（音量やソースを変更しても予約内容には影響しません。）
② 演奏後は電源を切る。
（CD の演奏位置やテープの反転モードを変えたときは、タイマー設定時の状態に戻し、元のCDやテープが入っていることを確認してから電源を切ってください。）

■ おめざめ／留守録タイマーを切り換えるには
電源「入」時に[◴ 再生 / ◴ 録音]を押して、“◴PLAY”（おめざめタイマー）または“◴REC”（留守録タイマー）を選ぶ。

おやすみタイマーを使う リモコンのみ

音楽を聞きながら眠りたいときに使います。
設定した時間を経過すると、自動的に電源が「切」になります。

スリープ ソースを演奏中に
押して
演奏時間を設定する

押すたびに
30 → 60 → 90 → 120
↑――― OFF ―――┘
（単位：分）

■ 解除するには
[スリープ]を押して、“OFF”を選ぶ。

■ 残り時間を確かめるには
[スリープ]を押す。
残り時間が表示されます。

■ 残り時間を変えるには
[スリープ]を押して、新たに時間を設定する。

お知らせ
- おやすみタイマーは、おめざめ／留守録タイマーと組み合わせて使えます。
常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、タイマーの予約時間が重ならないようにしてください。
- CD マネージャー(20 ページ)で CD を録音すると、おやすみタイマーは自動的に“OFF”になります。

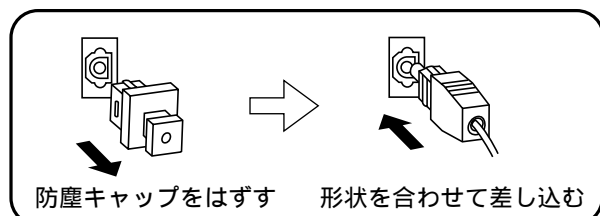
別売り機器を使う

接続および操作については、接続した機器の説明書もあわせてご覧ください。
なお、別売り品の品番は、2001年2月現在のものです。品番は変更されることがあります。

本機からMDへ録音する

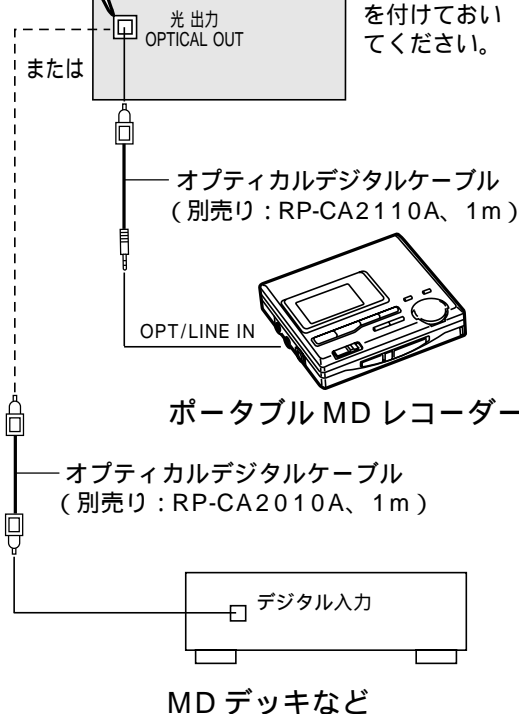
デジタル録音とアナログ録音の2種類の録音方法があります。
CDを録音したいときはデジタル録音に、テープやラジオを録音したいときはアナログ録音にします。
CDはアナログ録音でも録音できますが、高音質で録音したいときはデジタル録音をおすすめします。

デジタル録音（CDをMDへ録音する）

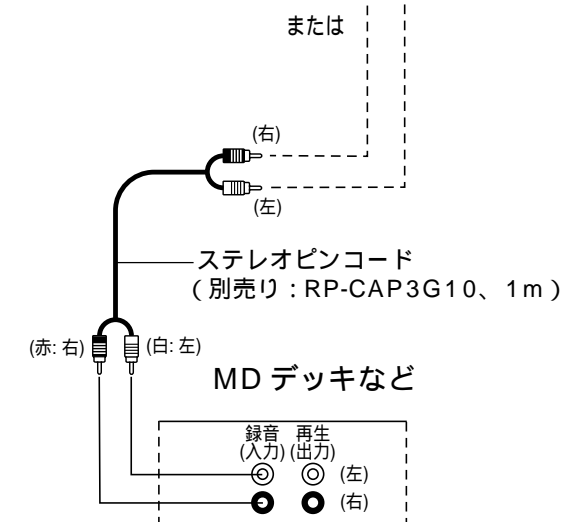
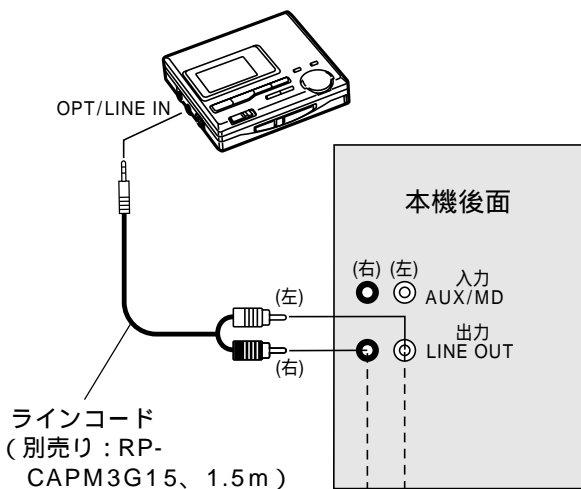
■接続するには

光出力端子を使わないときは

ほこりが入ると誤動作の原因になるため、防塵キャップを付けておいてください。

アナログ録音（テープ／ラジオをMDへ録音する）

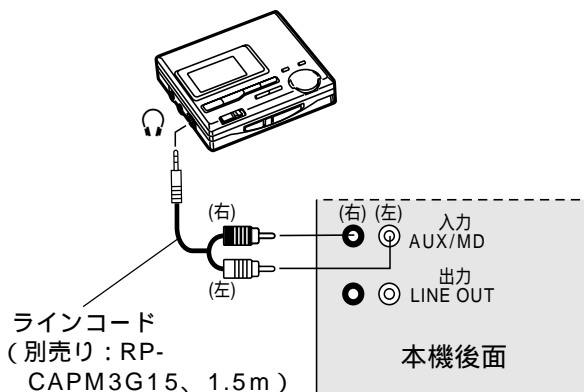
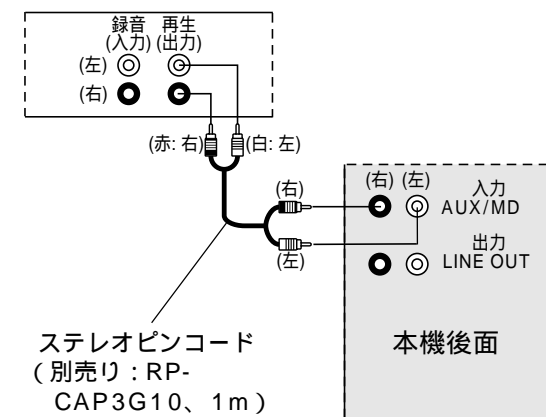
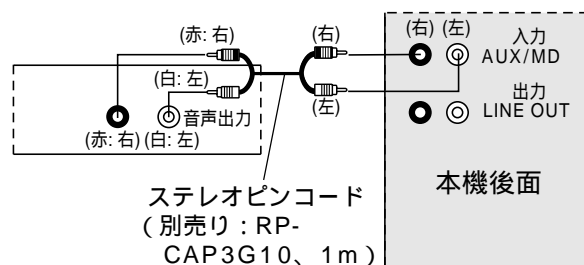
■接続するには

ポータブルMDレコーダー

■録音するには

①ポータブルMDレコーダーなどで録音を始める。
②本機でCDの演奏を始める。

別売り機器を本機で演奏する／別売り機器から本機（テープ）へ録音する

■接続するには

本機後面の入力（AUX/MD）端子に、演奏または録音したい機器を接続します。

ポータブルMDレコーダー

MDデッキなど

CS／BSチューナー、アナログプレーヤー、テレビ、有線放送など

アナログプレーヤーにつなぐには

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。
そのままつなぐと、音が小さくなります。

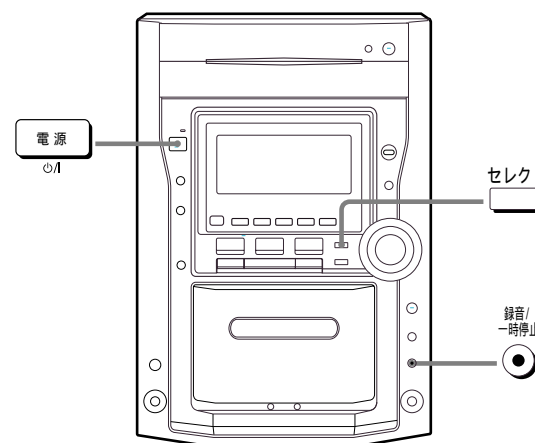
推奨品：パナソニックSL-J8（フォノイコライザー内蔵）

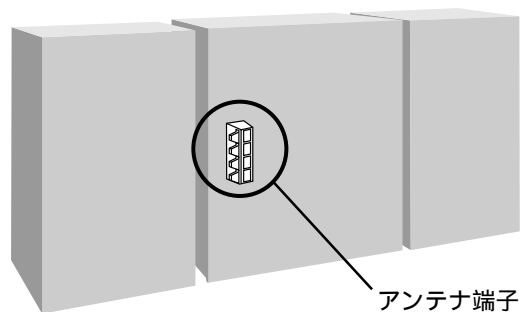
お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番RFKZ0088KIT）が必要です。

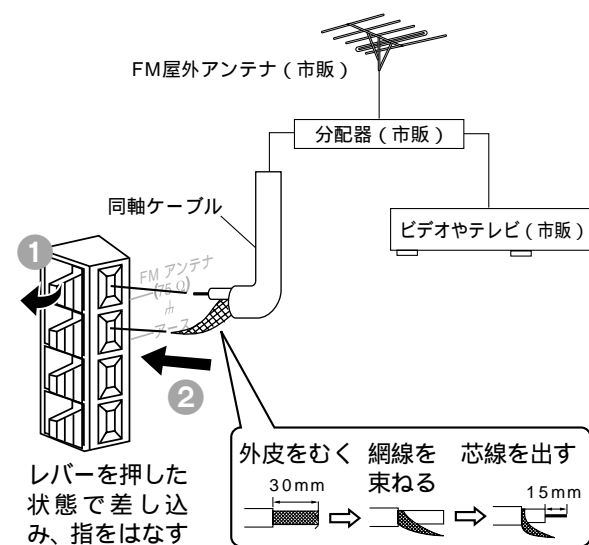
■演奏するには

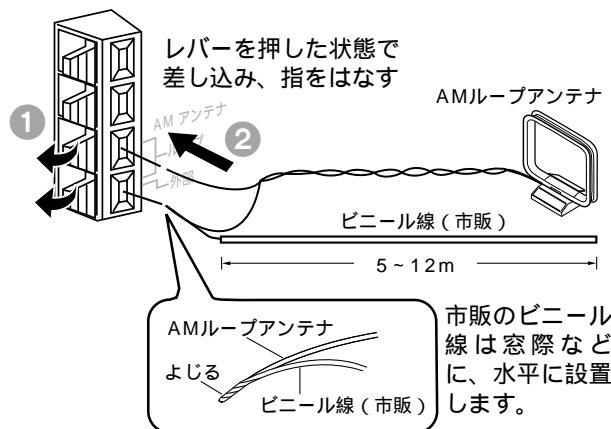
①電源を入れる。
②[セレクト]を押して、“AUX”を選ぶ。
③接続した機器の演奏を始める。

■録音するには

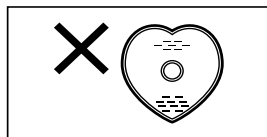
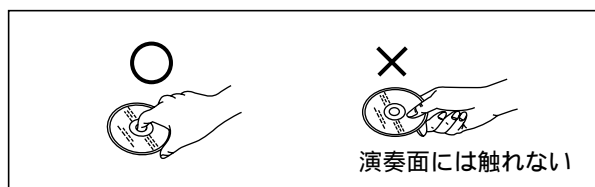
①録音用テープを入れる(▷19ページ)。
②[セレクト]を押して、“AUX”を選ぶ。
③[セレクト]を押し続けてレベルを選ぶ。
　AUX HI　：ポータブルMDなど、出力レベルの低い機器を使うとき
　AUX NOR：上記以外の機器を使うとき
④[録音/一時停止]を押す。
⑤接続した機器の演奏を始める。

屋外アンテナの接続

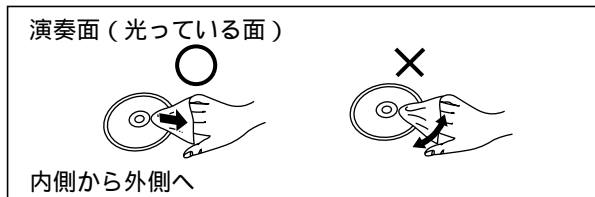
山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。
本機後面のアンテナ端子に接続します。

FM（テレビアンテナの利用）

付属の FM 簡易型アンテナは取り外します。

AM（市販のビニール線）

付属の AM ループアンテナは取り外さないで、いっしょにつないでおきます。

CD について

このマークの入ったものをご使用ください。

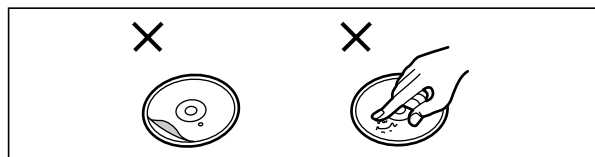
ただし、ハート型など特殊形状の CD はご使用にならないでください。機器の故障の原因となります。

■持ちかた

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス（品番 VUA7091）
（サービスルート扱い）

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

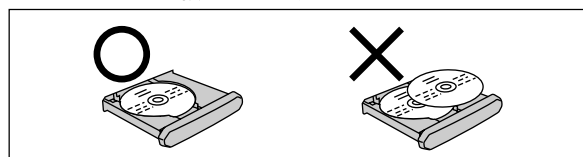
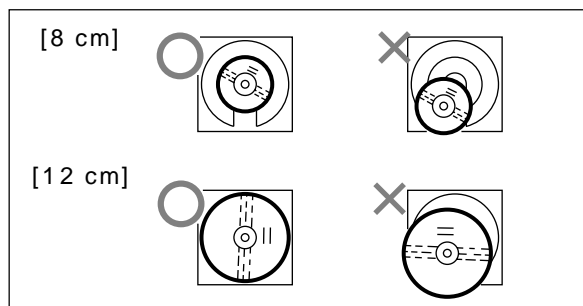
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

■保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

CDメカ故障防止のために

- トレイには 1 枚の CD を入れる

- シングル CD（8cmCD）アダプターを使わない
- 水平なところで使用する
（本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しないでください。）
- トレイが動いている間や、CD を入れたまま本機を移動しない
- トレイに CD 以外のものを入れない
- CD は、図の位置に正しく置く

- クリーニング CD、そりの大きな CD、割れたりヒビの入っている CD を使わない

テープについて

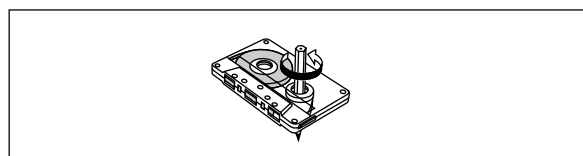
■100 分を超えるテープ

テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、早戻しをくり返さないでください。テープが回転部に巻き込まれることがあります。

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、テープが切れたりする原因になります。

■保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 高温や高湿のところ
- 磁気のあるところ（スピーカーの近くや、テレビの上など）

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合により異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本　部	(03)3481－2121	静岡支部	(054)254－2621
北海道支部	(011)221－5088	中部支部	(052)583－7590
盛岡支部	(019)652－3201	北陸支部	(076)221－3602
仙台支部	(022)264－2266	京都支部	(075)251－0134
長野支部	(026)225－7111	大阪支部	(06)6244－0351
大宮支部	(048)643－5461	神戸支部	(078)322－0561
上野支部	(03)3832－1033	中国支部	(082)249－6362
東京支部	(03)3562－4455	四国支部	(087)821－9191
西東京支部	(03)3232－8301	九州支部	(092)441－2285
東京イベント・コンサート支部	(03)5286－1671	鹿児島支部	(099)224－6211
立川 支部	(042)529－1500	那覇支部	(098)863－1228
横浜支部	(045)662－6551		

お手入れ

■本体が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

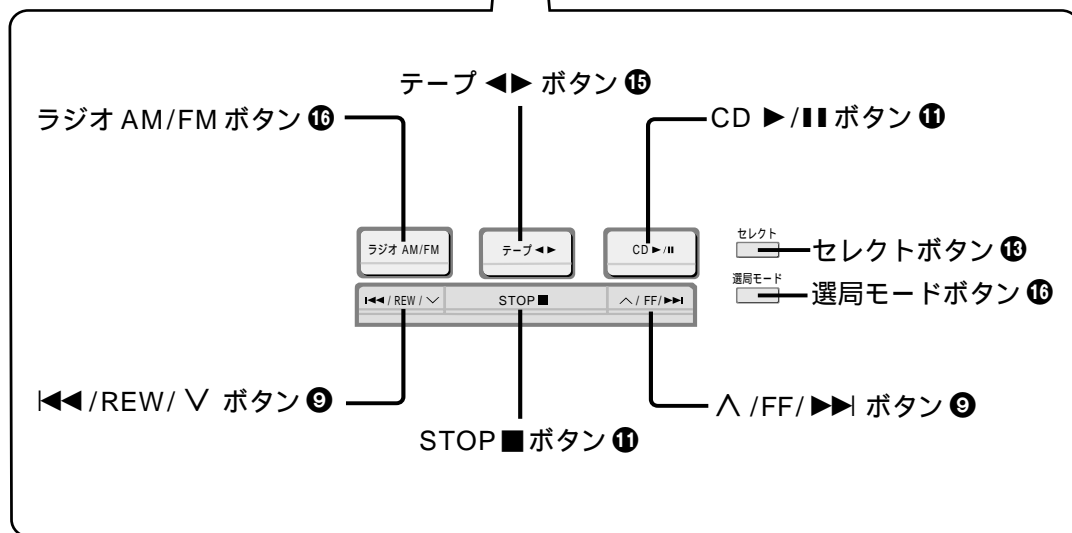
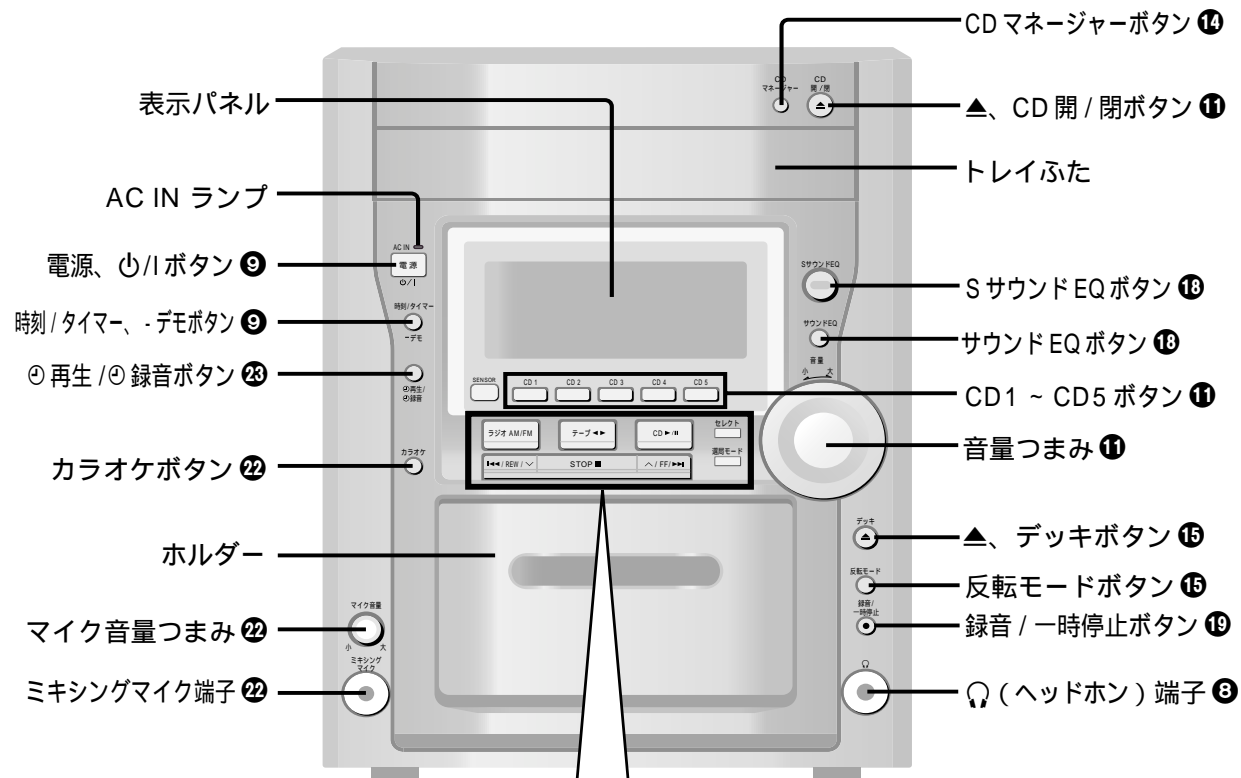
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

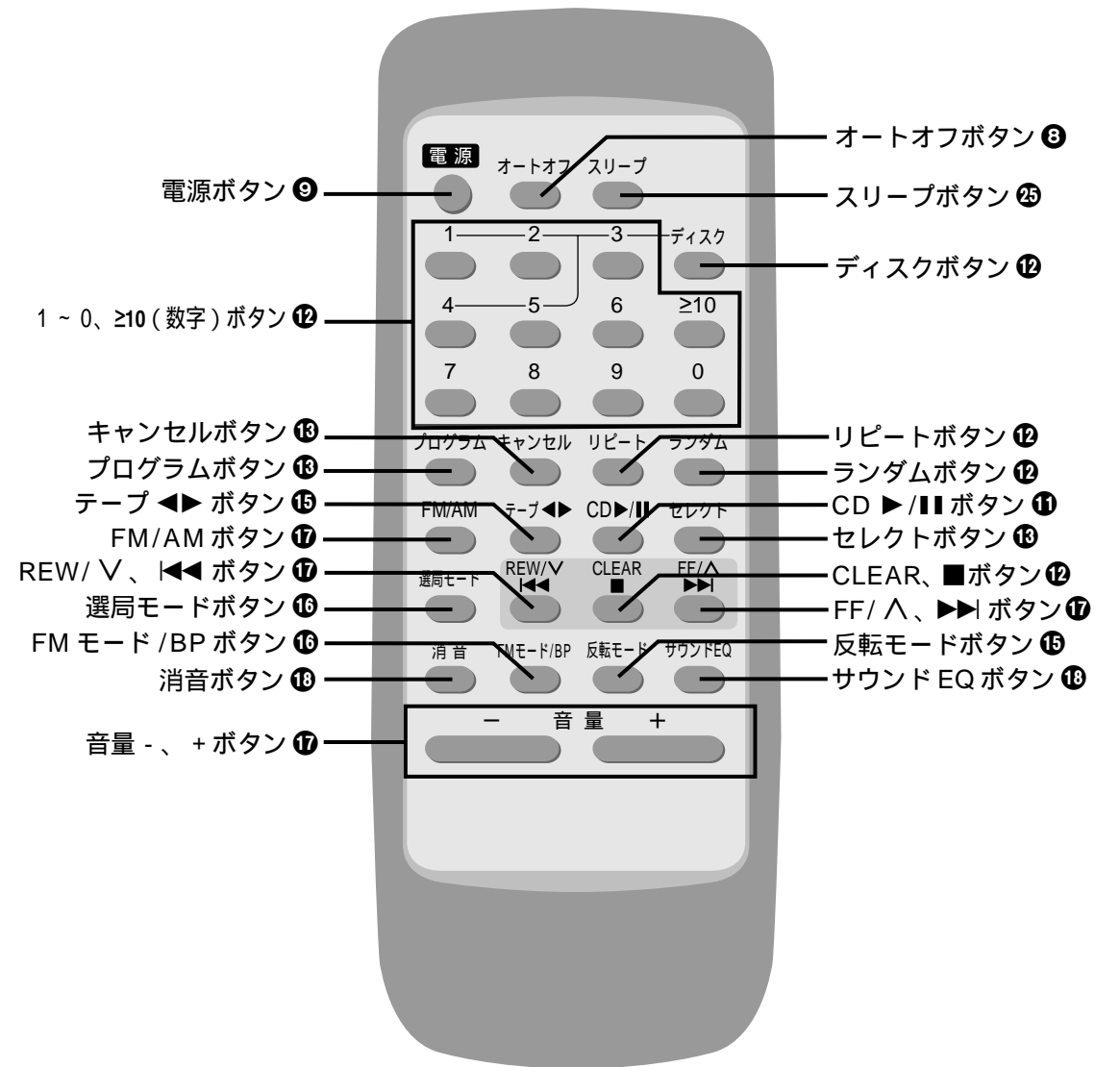
■テープをよい音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、ヘッド部を清掃されることをおすすめします。

各部のなまえ

本体

❾などの数字は参照ページです。

リモコン

リモコンのボタン名称が本体と同じ場合は、ボタンの働きも同様になります。

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	**手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい**	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。そのまま接続すると、音が小さくなります。	27
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX/MD」端子に接続します。	27
	テレビをつなぎたい	後面の「AUX/MD」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	27
	他のスピーカーをつなぎたい	**付属のスピーカー以外はご使用になれません。** 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。 他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	6
録音	**録音中に音量や音質を変えたらどうなる？**	録音中に音量を調節すると、スピーカーから出る音は変わりますが、録音される音には影響しません。 音質は、録音中には変えられません。録音中に[サウンドEQ]や[Sサウンド EQ]を押すと、“ERROR”が表示されます。 なお、録音レベルは自動的に設定されます。	18・19
その他	**引っ越しするのだが、そのまま使えるか？**	東日本、西日本に関係なく使えます。 電源の周波数は、本機内部で自動的に切り換わります。	／
	長時間使うと本体が暖かくなるが大丈夫か？	本体内部の熱を、後面などの穴から逃がしていますから、使用には差し支えありません。	／
	テープの演奏経過時間は分かるか？	本機にはテープカウンターがありませんので分かりません。	／

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
システム全体に共通	電源を切っているのに、表示パネルが全消灯しない。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	表紙
	電源が入っているの音が出ない。	音量が最小になっていませんか。	音量つまみで調節する。	11
	音の位置が定まらない。	スピーカーコードの⊕、⊖を逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	6
	左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	6
	演奏中に、突然音が出なくなった。	スピーカーコードがショートしていませんか。	電源を切り、スピーカーコードを正しく接続する。	6
FM	ステレオ放送に雑音が入る。	送信所が遠くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、テレビアンテナを利用してみる。	28
	ステレオ放送で雑音が多く、ときどき音が出なくなる。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。		
	“ST”表示が点滅する。	送信所が遠くありませんか。		
		テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源を切ってみる。	／
	ステレオ放送の音にひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	テレビアンテナを利用してみる。	28
AM	雑音が多い。	テレビと同時に使用していませんか。	本機とテレビの距離を離す。	／
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	／
テープ	音が小さい。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	29
	音が途切れる。			
	雑音が多く出る。			
	音がかすれたり、ふるえる。			
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にテープを貼る。	21
テレビ	画面がときどき消えたり、画面にシマ模様が出る。	テレビに室内アンテナを使用していませんか。	テレビ専用アンテナに替える。本機とテレビの距離を離す。	／
		テレビのアンテナ線が本機に接近していませんか。	テレビのアンテナ線を本機から離す。	／
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	8
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	8
CD	CDを入れても、表示パネルの表示が変わらない。 演奏ボタンを押しても、演奏が始まらない。	CD が裏表逆に入っていませんか。	正しく入れる。	11
		CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	28
		CDに傷がついていませんか。	新しいCDと取り替える。	／
		CDが極端に反っていませんか。		
		規格外のCDを使用していませんか。	規格のCDと取り替える。	28
		本体を寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	／
	特定の箇所が正常に演奏されない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	28
その他	タイマー予約ができない。	時計を合わせましたか。	時計を合わせる。	9
		停電はありませんでしたか。		
	自動的に電源が切れる。	オートオフ機能が働いていませんか。	オートオフ機能を解除する。	8

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この CD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

33 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料　は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代　は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料　は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品名	CD ステレオシステム
品番	SC-PM11
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

お取り扱い・お手入れなどのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（バナは　365日）
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-7725

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(0839)86-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。　0101

主な仕様

■ アンプ部

実用最大出力(両ch動作)	総合出力 30 W＋30 W（1 kHz、全高調波ひずみ率10 %、6 Ω）
入力感度	
AUX	250 mV
MIC	0.7 mV
入力インピーダンス	
AUX	13 kΩ
MIC	680 Ω

■ FMチューナー部

受信周波数帯域	76.0～108.0 MHz（100 kHzステップ） TV1～3 ch音声
実用感度	2.5 µV（IHF）
SN比26 dB	2.2 µV
アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）

■ AMチューナー部

受信周波数帯域	522～1629 kHz（9 kHzステップ）
実用感度	
SN比20 dB、999 kHz	560 µV/m

■ カセットデッキ部

トラック方式	4トラック、2チャンネル
ヘッド	
録音／再生	ソリッドパーマロイ
消去	ダブルギャップフェライト
モーター	DCサーボモーター
録音方式	ACバイアス、100 kHz
消去方式	AC消去、100 kHz
テープ速度	秒速4.8 cm
周波数特性（＋3 dB、－6 dB）デッキ出力	
ノーマル、ハイポジション	50 Hz～13 kHz
SN比	50 dB（a-WTD）
ワウ・フラッター	0.18 %（WRMS）
早巻時間	約120秒（C-60）

■ CDチェンジャー部

サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16ビット直線
光源	半導体レーザー
波長	780 nm
チャンネル数	2チャンネル（ステレオ）
周波数特性	20 Hz～20 kHz（＋1、－2 dB）
ワウ・フラッター	測定限界以下
デジタルフィルター	8 fs
DAコンバーター	MASH（1ビットDAC）

■ 本体総合

電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	62 W
寸法（幅×高さ×奥行）	200×260×345 mm
質量	約5.2 kg

■ スピーカーシステム（SB-PM11）

型式	2ウェイ2スピーカー、バスレフ型
使用スピーカー	
ウーハー	12 cmコーンタイプ
ツィーター	6 cmコーンタイプ
インピーダンス	6 Ω
許容入力	100 W（MUSIC）
出力音圧レベル	84 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	5 kHz
再生周波数帯域	50 Hz～22 kHz（－16 dB） 65 Hz～20 kHz（－10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	150×260×267 mm
質量	約2.5 kg

注）1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
　　2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第10次高調波までの総和です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

本機を移動するには

❶ CDをすべて取り出す
❷[電源]を押して電源を切る
❸ 電源プラグを抜く

愛情点検

長年ご使用のCDステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音が出ないことがある ・正常に動作しないことがある ・商品に破損した部分がある ・その他の異常や故障がある	▶	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	品番	SC-PM11

松下電器産業株式会社　デジタルAVネットワーク事業部

〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT5705-S

F0201YW0

Panasonic　CD ステレオシステム　SC-PM11　取扱説明書